

令和3年度 大田区立矢口東小学校 自己評価 報告書

○ 本校の概要

本校は昭和2年(1927年)に東京都荏原郡矢口東尋常小学校として開校以来、今年で92周年になる。卒業生は1万人を超え、親子3代にわたって矢東が母校という地域の人も多い。校地は東急池袋線より徒歩5分、多摩川線矢口渡駅からも10分の便利な場所にあり、多くは戸建てや小規模な集合住宅が建っている。大規模な集合住宅はなく、全校300名程度の児童数にこ数年保たれている。小規模な学校のため丁寧な指導が可能であり、児童は全体的に落ち着いた学校生活を送っている。本校の教育目標は「自ら学ぶ子、心豊かな子、たくましい子」であり、知、徳、体のバランスの取れた教育を目指している。将来本校に在籍している児童が、しっかりと自立して社会に役立つ人間になれるよう、教育目標の実現に向け、全教職員が力を合わせて教育活動を行っている。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	目標	取組内容	取組指標	目標に対する成果指標		
プラン1 未来社会を創造的に生きる子供の子供の育成	外国語教育指導員を効果的に活用し、外国の方々とのコミュニケーション能力の育成を図っている。 論理的、科学的な思考力の育成を目指し、「おたのみのづくり」を生かした体験活動や理数授業等を実施する。 学力の定着と学ぶ意欲の伸長を目指し、ICT機器を活用した授業を実施する。 他人の人権を尊重する人権教育の推進を目指し、人権教育資料等を活用した授業を実施する。 体力テストの結果を踏まえ体力向上全体計画を作成し、計画に基づいた体育指導や「一校一取組」運動や「一学級一実践」運動を実践する。	4:「おたのみのづくり」と全教職員が回答した。 3:80%以上の教職員が回答した。 2:60%以上の教職員が回答した。 1:60%未満であった。	4:全教職員が行った。 3:80%以上の教職員が行った。 2:60%以上の教職員が行った。 1:60%未満であった。	自分にはよいところがある」の問いに肯定的な回答が85%以上	4:	
		4:設置教室を使用する全正規教職員が週1回以上活用した。 3:80%以上の正規教職員が週1回以上活用した。 2:60%以上の正規教職員が週1回以上活用した。 1:60%未満であった。	4:対象となる全学級(全教職員)で行った。 3:80%以上で行った。 2:60%以上で行った。 1:60%未満であった。	自分にはよいところがある」の問いに肯定的な回答が80%以上	3:	
		4:対象となる全学級(全教職員)で行った。 3:80%以上で行った。 2:60%以上で行った。 1:60%未満であった。	4:対象となる全学級(全教職員)で行った。 3:80%以上で行った。 2:60%以上で行った。 1:60%未満であった。	自分にはよいところがある」の問いに肯定的な回答が70%以上	2:	
		4:全教職員で行った。 3:80%以上の教職員で行った。 2:60%以上の教職員で行った。 1:60%未満であった。	4:対象となる全学級(全教職員)で行った。 3:80%以上で行った。 2:60%以上で行った。 1:60%未満であった。	自分にはよいところがある」の問いに肯定的な回答が60%未満	1:	
プラン2 児童・生徒一人ひとりの学力の向上	学習カルテを基に児童・生徒と面談し、一人ひとりの学習のつまずきや学習方法について、指導する。 算数・数学到達度をステップ学習チェックシートで児童・生徒、保護者に知らせる。 学習補助員等による算数・数学・英語の補習を実施する。 授業改善推進プランを、授業に生かす。	4:対象となる全学級(全教職員)で行った。 3:80%以上で行った。 2:60%以上で行った。 1:60%未満であった。	4:学期に2~3回知らせた。 3:学期毎に知らせた。 2:年度間に1回は知らせた。 1:お知らせできなかった。	授業が楽しい」の問いに肯定的な回答が5%以上	4:	
		4:対象児童・生徒への出席を全教職員が働きかけた。 3:80%以上の教職員が働きかけた。 2:60%以上の教職員が働きかけた。 1:60%未満であった。	4:「おたのみのづくり」と全教職員が回答した。 3:80%以上が回答した。 2:60%以上が回答した。 1:60%未満であった。	授業が楽しい」の問いに肯定的な回答が0%以上	2:	
		4:全教職員が行った。 3:80%以上の教職員が行った。 2:60%以上の教職員が行った。 1:60%未満であった。	4:「おたのみのづくり」と全教職員が回答した。 3:80%以上が回答した。 2:60%以上が回答した。 1:60%未満であった。	授業が楽しい」の問いに肯定的な回答が0%未満	1:	
プラン3 豊かな心の育成	小中一貫による教育の視点に立った生活指導の充実により、社会のルールや学校のきまりなどを守ろうとする意識を高める。 道徳教育推進教師を講師とした研修や、国、都及び区の資料を活用した授業等を行う等道徳指導充実のための取組を行う。 学校生活調査(メンタルヘルステック)の結果よりストレス症状のみられる児童・生徒に対して組織的に対応する。 学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見等のための取組を実施する。 問題行動・不登校問題等にかかわる児童・生徒に関するケース会議等を実施する。	4:全教職員が行った。 3:80%以上の教職員が行った。 2:60%以上の教職員が行った。 1:60%未満であった。	4:学期に2~3回(年間6回)以上行った。 3:学期に1回(年間3回)以上行った。 2:年度間に1回以上行った。 1:実施しなかった。	友達にやさしくしている」の問いに肯定的な回答が90%以上	4:	
		4:「組織的対応ができた」と全教職員が回答した。 3:80%以上の教職員が回答した。 2:60%以上の教職員が回答した。 1:60%未満であった。	4:「組織的対応ができた」と全教職員が回答した。 3:80%以上の教職員が回答した。 2:60%以上の教職員が回答した。 1:60%未満であった。	友達にやさしくしている」の問いに肯定的な回答が80%以上	3:	
		4:必要事項に対して必ず会議を実施し、組織的に対応した。 3:必要事項に対しておたのみのづくりを実施した。 2:必要事項に対してあまり実施しなかった。 1:必要事項に対してほとんど会議を実施せず、組織的な対応をしなかった。	4:「組織的対応ができた」と全教職員が回答した。 3:80%以上の教職員が回答した。 2:60%以上の教職員が回答した。 1:60%未満であった。	友達にやさしくしている」の問いに肯定的な回答が70%以上	2:	
プラン4 体力の向上と健康の増進	「早寝・早起き・朝ごはん」月間の取組等を通して、児童・生徒や保護者に対し、望ましい生活習慣についての意識啓発を行う。 給食指導及び教科等における指導を通して、食生活の充実・改善をねらいとした「食育」を推進する。 体育的行事、部活動、休み時間など様々な機会を通して運動習慣の確立を推進する。	4:全教職員で行った。 3:80%以上の教職員で行った。 2:60%以上の教職員で行った。 1:60%未満であった。	4:全教職員で行った。 3:80%以上の教職員で行った。 2:60%以上の教職員で行った。 1:60%未満であった。	遠で外遊びをする」の問いに肯定的な回答が0%以上	4:	
		4:全教職員で行った。 3:80%以上の教職員で行った。 2:60%以上の教職員で行った。 1:60%未満であった。	4:全教職員で行った。 3:80%以上の教職員で行った。 2:60%以上の教職員で行った。 1:60%未満であった。	遠で外遊びをする」の問いに肯定的な回答が70%以上	3:	
		4:全教職員で行った。 3:80%以上の教職員で行った。 2:60%以上の教職員で行った。 1:60%未満であった。	4:全教職員で行った。 3:80%以上の教職員で行った。 2:60%以上の教職員で行った。 1:60%未満であった。	遠で外遊びをする」の問いに肯定的な回答が60%以上	2:	
プラン5 魅力ある教育環境づくり	授業公開日の授業評価を、その後の授業改善に生かす。 授業改善セミナー等の研修成果を生かし、主任教諭が助言・支援を行う校内研修等を実施しOJTを充実させる。 各種研究発表会等の研究・研修の成果を、自身の授業改善に生かす。 校内委員会等を確実に実施し、学校における特別支援教育を推進する。	4:「おたのみのづくり」と全教職員が回答した。 3:80%以上の教職員が回答した。 2:60%以上の教職員が回答した。 1:60%未満であった。	4:学期に2~3回(年間6回)以上行った。 3:学期に1回(年間3回)以上行った。 2:年度間に1回以上行った。 1:実施しなかった。	保護者アンケート「子どもたちにとってわかりやすい授業をしていた」の問いに肯定的な評価が90%以上	4:	
		4:「おたのみのづくり」と全教職員が回答した。 3:80%以上の教職員が回答した。 2:60%以上の教職員が回答した。 1:60%未満であった。	4:「おたのみのづくり」と全教職員が回答した。 3:80%以上の教職員が回答した。 2:60%以上の教職員が回答した。 1:60%未満であった。	保護者アンケート「子どもたちにとってわかりやすい授業をしていた」の問いに肯定的な評価が80%以上	3:	
		4:月1回以上行った。 3:学期に2~3回行った。 2:学期1回以上行った。 1:実施しなかった。	4:「おたのみのづくり」と全教職員が回答した。 3:80%以上の教職員が回答した。 2:60%以上の教職員が回答した。 1:60%未満であった。	保護者アンケート「子どもたちにとってわかりやすい授業をしていた」の問いに肯定的な評価が70%以上	2:	
プラン6 学校・家庭・地域が担う役割などを明確にし、地域に開かれた教育の実現を目指す。また、相互の連携を深め、子どもを育てる仕組みを作り出す。	教育目標・学校経営方針・学校評価等の基本情報、児童・生徒の活動情報等をホームページ等で公開及び更新することにより、積極的に情報を発信する。 地域教育連絡協議会において、児童・生徒の姿等の具体的な資料を作成して、評価に必要な学校の情報を適切に提供し、適正な評価を受けるよう努める。 学校支援地域本部と連携するなどして、地域力を生かした特色ある教育活動を実践する。	4:月1回以上更新した。 3:学期に2~3回更新した。 2:学期1回以上更新した。 1:更新しなかった。	4:毎回情報を提供した。 3:おたのみのづくりを提供した。 2:あまり情報を提供しなかった。 1:情報を提供しなかった。	保護者アンケート「教育活動の様子をわかりやすく伝えていくか」の問いに肯定的な評価が0%以上	4:	
		4:学期に2~3回行った。 3:学期1回以上行った。 2:年1回以上行った。 1:実施しなかった。	4:「おたのみのづくり」と全教職員が回答した。 3:80%以上の教職員が回答した。 2:60%以上の教職員が回答した。 1:60%未満であった。	保護者アンケート「教育活動の様子をわかりやすく伝えていくか」の問いに肯定的な評価が8%以上	3:	

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。
○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己